

長尺物に適応した可搬式長大寸法測定器を試作しました

岩手県工業技術センター（理事長 木村卓也）は、公益財団法人JKAの補助を受け、鈴木機械株式会社（代表取締役 野村康行）との共同研究により「長大寸法測定器」の試作開発を行いました。

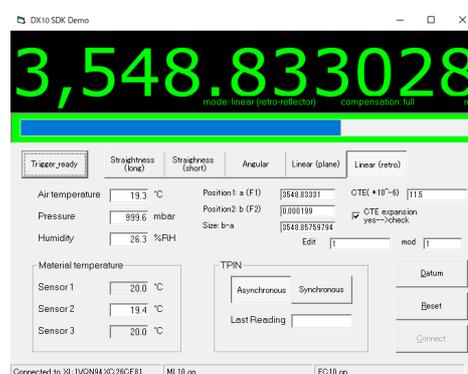
機械製品の高性能化が進み、それを構成する部品の寸法指示精度が厳しくなっている現状において、部品寸法を高精度に測定する要求が高まっています。特に大型部品では高精度測定を行う方法が難しいことから、共同研究により長尺物に適応した可搬式長大寸法測定器を開発しました。測定方式をレーザー干渉方式とすることで、長尺物（約3m）の高分解能測定を実現しました。この測定器を利用することで、大型部品の寸法保証や国際リニアコライダー（ILC）関連部品への適用も可能となります。

工業技術センターの技術シーズを活用

座標測定機の間点検手法の考察、精密工学会誌、Vol.79、No.3(2013)、241-247



可搬式長大寸法測定器



制御画面

※ 試作開発は、公益財団法人JKA 令和元年度「公設工業試験研究所等が主体的に取り組む共同研究補助事業」により実施しました。



※ ご不明な点がございましたら、電話またはメールにてお問い合わせください。

地方独立行政法人岩手県工業技術センター

<http://www.pref.iwate.jp/~kiri/>

〒020-0857 岩手県盛岡市北飯岡2-4-25 TEL:019-635-1115 FAX:019-635-0311

E-mail: CD0002@pref.iwate.jp

担 当: 素形材プロセス技術部 和合 健